

神経集中治療診療ガイドライン2024

一二三 亨^{1*} 井上 明彦^{2**} 岡野 弘³ 鈴木 秀鷹⁴ 中川 俊⁵ 藤原 岳⁶
藤本 佳久^{1,7} 文屋 尚史⁸ 大谷 尚之⁹ 伊藤 弘¹⁰ 西村 健² 天谷 文昌¹¹
岡本 洋史³ 寺山 毅郎¹² 岡崎 智哉¹³ 木下 浩作¹⁴ 永山 正雄¹⁵ 横堀 将司¹⁶
末廣 栄一¹⁷ 野田浩太郎¹⁸ 今井恵理哉¹⁹ 狩野 謙一²⁰ 吉田 拓生²¹ 櫻谷 正明²²
石塚 紀貴²³ 青木 誠²⁴ 山田 浩平²⁵ 遠藤 英徳²⁶ 吉村 元²⁷ 藤村 幹²⁸
菊地 研²⁹ 遠藤 智之³⁰ 黒田 泰弘^{31***}

日本集中治療医学会「神経集中治療診療ガイドライン2024」作成委員会

* 委員長
** 副委員長
*** 担当理事

¹ 杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター

² 兵庫県災害医療センター集中治療室

³ 聖路加国際病院集中治療室

⁴ 武蔵野赤十字病院救命救急センター集中治療室

⁵ TMG あさか医療センター神経集中治療科・集中治療科

⁶ 京都府立医科大学脳神経外科学教室

⁷ 聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター集中治療室

⁸ 札幌医科大学附属病院高度救命救急センター

⁹ 広島市立広島市民病院救急科

¹⁰ 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター

¹¹ 京都府立医科大学附属病院麻酔科

¹² 自衛隊中央病院救急科

¹³ 千葉西総合病院集中治療室

¹⁴ 日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター

¹⁵ 国際医療福祉大学成田病院脳神経内科

¹⁶ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター

¹⁷ 国際医療福祉大学成田病院脳神経外科

¹⁸ 東京科学大学病院集中治療室

¹⁹ 三井記念病院麻酔科

²⁰ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野

²¹ 東京慈恵会医科大学救急災害医学講座附属柏病院集中治療部

²² 広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院ICU

²³ 藤田医科大学病院高度救命救急センター救命ICU

²⁴ 防衛医学研究センター外傷研究部門

²⁵ 防衛医科大学校病院救急部

²⁶ 東北大学病院脳神経外科

²⁷ 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科

²⁸ 北海道大学大学院医学研究院脳神経外科

²⁹ 獨協医科大学病院救命救急センター

³⁰ 東北医科薬科大学病院救急・集中治療科

³¹ TMG あさか医療センターER救急センター

要約: 日本集中治療医学会は「神経集中治療診療ガイドライン2024」作成委員会を結成し、「神経集中治療診療ガイドライン2024 (J-NCCG 2024)」を作成した。本ガイドラインは、くも膜下出血、てんかん重積状態、体外循環式心肺蘇生法 (extracorporeal cardiopulmonary resuscitation, ECPR)、敗血症関連脳障害に関する診断・治療・管理の意思決定を支援し、患者の機能予後・生命予後の改善と診療の標準化を目的とした。J-NCCG 2024は、くも膜下出血、てんかん重積状態、ECPR、敗血症関連脳障害の4領域をカバーし、合計15個の重要臨床課題を設定した。ガイドラインパネルには委員15名を任用し、アドバイザー、オブザーバー、系統的レビューチームメンバー18名のサポートのもとに作成した。将来への発展性を見据えて、多くの若手医療従事者や研究者を含めた。中立的立場で領域を横断的に俯瞰するアカデミックガイドライン推進班を構成し、質の担保と作業過程の透明化を目的にパブリックコメントを募集した。作成手法にはGrading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation (GRADE) システムを採用し、質の高いガイドラインを目指した。そして6個のGRADEに基づく推奨を提示した。その他に、background question (BQ) 9個の解説文を付記した。本ガイドラインが、初学者からエキスパートまでの多職種にとって使いやすい道標となり、標準化と継続的改善を通じて、ひとりでも多くの重症神経疾患患者の機能予後・生命予後の改善に資することを願う。

Key words: ①neurocritical care, ②guidelines, ③evidence-based medicine, ④systematic review, ⑤Medical Information Network Distribution Service, ⑥Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation